

【九月】 お題「氷」「旅」「隠れる」「政宗公まつり」

月間賞

水滴のついた氷が溶けはじめ夏の終わりをカランと告げる

三―三 荒木 舞優

第二席

誕生日人生の旅にまた一歩大人になったそんな気がした

一―二 鈴木 璃音

第三席

夏の癖水を入れて飲み干した冷えるからだど秋の訪れ
休みの日麦茶の中に浮く氷昼寝から起き麦茶が増える

三―三 松田 真於
一―二 大山 大翔

優良賞

目の前に君がいるだけ話すだけ 気づけば氷は溶けていた
ふらふらと自由気ままに我が道を大切なものに気づける旅路
かくれんぼ頭隠して尻隠さず隠れた場所に今は隠れられず
影凍る季節近づくこの時期は金木犀の香りがする

二―一 高嶋明衣里
二―二 早川 奈桜
二―二 大道寺翔吾
二―二 高野 美咲

佳作

赤色へ衣替えした木の葉達風に見送られ長旅に出る
てらてらと斜陽が照らし音がなる輝く氷はあと一つだけ
一日の終わりに見えた月の氷暗闇の中ただひとつの輝(ひかり)
ぶらぶらと近所を歩く街並みが季節を教える小さな旅
スピーチでよく分からないとこで噛んじやった氷のような視線が痛い
帰宅時に何かないかと何もなく冷蔵庫にある氷頬張る

三―二 佐々木 陽菜
三―三 濱田 春菜
二―二 中鉢 結貴
二―一 北村 夢生
一―一 内海 遥陽
一―一 森谷 心咲

入選

布被せ皆でかついだ牛鬼で道に落とした汗とスタミナ
コロナ禍で開催できた政宗公やっと感じる祭りの匂い
二年ぶり開催された町おこし久しぶりに見る懐かしい顔
冷たくて氷みたいないな心をさ温めてくれたのはあなたの歌だよ
いい香り金木犀が風に乗る見え隠れする秋の姿
ホーホーと竹法螺鳴らしいざ出陣先陣切って牛鬼導く
ざあざあと涼しげに吹く秋風の歩いて外へ旅へ出かける
夏を終えだんだん寒く秋の日を焼き芋を食べ心温まる
学校行事政宗公まつりで笛吹いた途中で屋台に目を奪われる

三―一 山口 たくと
三―一 森華乃音
三―二 阿部 明斗
三―二 佐々木 優香
三―三 三浦 明音
二―一 谷代乃々
二―三 大和田 陽
一―一 菊地美南
一―二 高橋 静愛